

一般会計・特別会計決算額

歳入 2137億5818万円
歳出 2083億3502万円

公営企業(病院事業)会計決算額

歳入総額 18億675万円
歳出総額 18億9122万円

「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」

「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」

「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」

「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」

「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」

**一般、特別、公営企業会計
平成25年度決算を認定**

議会は、平成26年9月16日から19日まで決算審査特別委員会を開き、平成25年度市川市一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について審査しました。

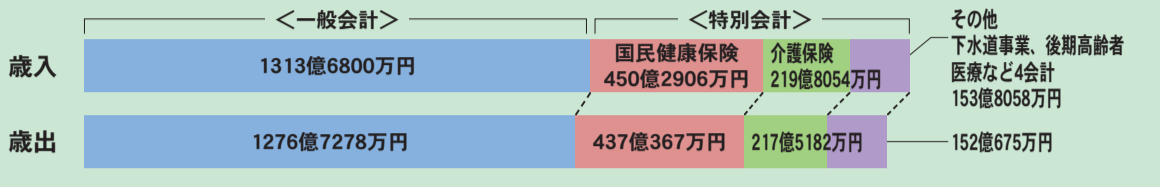
審査終了後、本会議において委員会での審査に関する報告がなされ、採決の結果、本決算を賛成多数で認定しました。

【主な質疑応答】

問「一般会計・特別会計歳入歳出決算額が減少に転じた要因をどう分析しているか」
答「東京ベイ・浦安市川医療センター整備事業が完了したことや、クリーンセンター延命化事業の工事費の減少等により一般会計の歳入が大幅に減少したことによるものと考えている」

問「ふるさと納税制度活用事業の寄附金額が当初見込みより少なかったが、今後どう取り組んでいくのか」
答「市公式ウェブサイトを積極的に活用し、Tポイントの付与を継続していきたい」

問「病院事業会計は病院運営を見直さなければ一般会計からの繰入金金を減らせない。今後どう改善していくのか」
答「繰入金が増えているが、受け入れ患者数は広報や地元自治会へのチラシ配付等の結果増加している。今後は、今ある医療資源の中で患者数を増やし、経営改善を図っていく」



議案等の審議結果一覧

件名	各派議員の賛否											審議結果	
	公明	みらい	日本共産	緑風	自由クラブ	自由民主党	民主・連合・社民	無所属・ネット	ポランテ	みんなの党	行徳自民		無所属
○市長提出													
議案第11号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	修正議決
14号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	修正議決
16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28号	○	△	○	○	○	△	○	△	○	○	○	○	可決
認定第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
○議員提出													
発議第16号	○	○	○	○	○	△	○	×	○	×	○	×	可決
17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21号	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23号	×	×	○	×	×	×	△	○	×	○	×	○	否決
24号	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	否決
25号	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	否決
26号	×	×	○	×	×	×	△	○	×	○	×	○	否決
27号	×	×	○	×	×	×	△	○	×	×	×	○	否決
○その他													
議員の派遣について	○	○	×	○	○	○	○	△	○	×	○	×	承認
○請願													
請願第26-7号												みなし不採択	
26-8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
26-9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
26-11-1号	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択

請願

9月定例会には、新たに請願5件が提出され、所管の各委員会で審査しました。議会は、このうち2件を採択、1件を不採択、2件を継続審査としました。この他継続審査となっていた請願1件をみなし不採択としました。(審議結果は左表)

意見書

9月定例会には、意見書案等11件が提出され、議会は、このうち、6件を可決し、5件を否決しました。10月7日に関係行政庁へ送付しました。(審議結果は左表)

軽度外傷性脳損傷に係る周知及び適切な労災認定に向けた取り組みの推進を求める意見書(要旨)

軽度外傷性脳損傷は、転倒や転落、交通事故等により頭部に衝撃を受けた際に脳が損傷し、発症する疾病であり、その主な症状は、高次脳機能障害による記憶力・理解力・注意力の低下をはじめ、てんかんなどの意識障害、半身麻痺等、複雑かつ多様である。

しかしながら、軽度外傷性脳損傷はMRIなどの画像検査では異常が見つかりにくいため、労災保険や自賠責保険の補償対象にならないことが多く、働けない場合には生活に窮することもある。さらに、この疾病を知らないために職場や学校で理解されず、悩み苦しむ状況も見受けられる。

世界保健機関は、外傷性脳損傷の定義を明確化し、予防措置を確立することを提唱しており、我が国でも対策が求められる。

よって、本市議会は国に対し、以上の現状を踏まえ、下記の事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

- 軽度外傷性脳損傷について、教育機関等に対し広く周知を図ること
- 画像所見が認められない高次脳機能障害の労災認定について、適切に認定が行われるよう、取り組みを進めること

○平成26年定例会開会予定日○

12月定例会	11月28日(金)
--------	-----------

※上記は予定であり、事情により変更される場合があります。

※出席した会派の議員全員が、賛成：○、反対：×、出席した会派の議員の一部が賛成・一部が反対：△
 ※無所属・ネット=無所属の会・市民ネット ※9月26日付で結いの党から無所属に会派名が変更されました。
 ※みなし不採択：議会の意思は議案の可決により確定し、これに拘束されるため、可決した議案と相反する趣旨の請願を不採択とみなすものです。
 ※議員別の賛否は市川市議会のホームページに掲載しています。

○増田好秀	○無所屬	○松井努	○行徳自民党	○石崎ひでゆき	○みんなの党	○鈴木啓一	○ポランテ	湯秋浅川	越前雅史	無所属の会・市民ネット	佐藤義一	石原まさのり	守屋貴子	民主・連合・社民	宮田幸夫	佐藤幸紀	かいづ	自由民主党	加藤武央	青井文勝	井上博義	自由クラブ	竹内清海	松永鉄二	松永修	緑風会	谷藤利子	清高貞子	日本共産党	寒川一清	岩井詩郎	荒井木郎	並木幸太郎	田中幸正	金子太正	西野村	浅野村	中野村	堀越義雄	公明党	(現員数42名)
-------	------	------	--------	---------	--------	-------	-------	------	------	-------------	------	--------	------	----------	------	------	-----	-------	------	------	------	-------	------	------	-----	-----	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	-----	-----	-----	------	-----	----------

※○は会派代表者。 ※市議会では会派制をとり議会活動を行っています。なお、所属議員3人以上の会派を、議会運営委員の選出などができる交渉会派としています。

議員の寄附やあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)は公職選挙法で禁止されています